※令和３年度以前入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版化学基礎　新訂版　（実教出版）						
副教材等	基本ステップノート化学基礎　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は「物質」を扱う学問です。化学基礎の授業では、小中学校の理科の内容を土台として、現象を化学的なものの見方・考え方で捉えていきます。また、物質量molという単位を中心に、気体の体積L、質量gを自在に換算し、化学反応式と関連付けながら量的関係の理解を深めていきます。

2　学習の到達目標

１．化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
２．原子の構造、電子配置と周期律の関係及び、化学結合のしくみについて理解できる。
３．化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:実験・観察の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	物質の構成や物質の変化に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。	物質の構成や物質の変化の原理・法則を見出し総合的に考察できる。過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。	観察・実験の技能を習得するとともに、物質の構成や物質の変化を科学的に探究する方法を身に付ける。	化学物質に関して化学的知識を生かし、適切に扱う方法を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録・発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	物質の構成	物質の成分と構成元素	○		○		a: 物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 b: 物質の化学結合と物質の性質を調べることにより原理・法則を見出し総合的に考察できる。 c: 物質についての探究の方法を身に付け、必要に応じて活用し、得られた結果を的確に表現できる。 d: 物質の探究をするために、基本的な概念や原理・法則などの知識が必要であることを理解している。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		原子の構造と元素の周期表	○			○		
		化学結合		○				
後期	物質の変化	物質量と化学反応式		○		○	a:事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。 b: 物質量と化学反応式に関する事物・現象の中に問題を見出し、事実を分析的・総合的に捉え科学的に判断できる。 c: 観察、実験の技能を習得するとともに酸と塩基に関する事物・現象を科学的に探究する方法を身につける。 d:物質量と化学反応式に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解している。	学習状況 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		酸と塩基			○			
		酸化還元反応	○					

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。